

保育園統廃合保護者説明会（文化センター） 10月1日 参加者70人

- (質問)：統廃合プロジェクト検討報告書第二保育園の質問の3番ですが、一ッ浜保育園に長時間保育や土曜日保育を検討するとあるが、いつ頃、結果がでるか。
- (回答)：それについては回答集の8-(2)(3)にあるが、平成20年度に限り、土曜保育の実施園は「第一保育園」になる。土曜保育を希望される方は「第一保育園」に入園していただきたいと思う。
- (質問)：昨年、保育園あり方検討委員会の一員として、参加してきた。園の改修、全面改築、また、25年が23年になったという変更について説明していただきたい。
- (回答)：第二は改修だけと言うあり方検討委員会の議論だったが、地質調査の結果、改修よりも改築がいいという結果がでた。より早く安全な園を作るためにも、設計を一年で済ませ、行財政プランの前倒しをした。23年からは南小の改築もある。計画的に進めるためにも前倒しをして安全な保育環境を作っていく。
- (質問)：一年で170人定員の園を作れるのか、どこから導きだしたのか。
- (回答)：基本的に一年の工期でしあがる。建築の専門家とも相談し、考えてきている。4月に解体し、5～6月に着工する計画である。他の市も工期は一年で新園を建築している。
- (質問)：園児数と保育士数の見込みについて、未満児も入っているのか。
- (回答)：入っている。
- (質問)：53年頃は二年保育が主流だったと思う。未満児が増えれば保育士の数も増える。全園児数から考えると、手厚い保育がされていると言えるのか。
- (回答)：未満児保育はその頃にも行っていた。全体の中で平均するとそうなるということである。下諏訪町ではもともと手厚い保育を進めてきている。3歳児は15～6人、4・5歳児は25～6人までとして、国の基準を上回る職員配置をしている。
- (質問)：保育園の通園区域の地図ですが、19年561人というのは園児数か。地区の園児数か。
- (回答)：これは児童数であり、園に入っていない、幼稚園の子も含まれている。統廃合時の児童推計はこれに70%くらいかけると実際に入る人数になる。これで保育園の定数をみている。やはり、片寄りがあるので、ある程度区域で分けてある。定員には余裕をもたせてある。設計の中には増えても対応できる設計を考えてもらう。
- (質問)：第五の数が少なくて、一ッ浜が多いという定員のバランスについては。
- (回答)：一ッ浜は定員オーバーなので、区域割りをしていきたい。その線引きについては、今後保護者会やだっこの会の皆さんと協議して進めていく。
- (要望)：広報で特集をするなど、町民への周知をして欲しい。
- (要望)：保育士の数は正規と臨時の半分ずつであると思うが、保育の質の向上という部分で、臨時の保育士の賃金の検討があってもいいのではないかと。
- (要望)：光熱費など安くなるためにも、太陽光発電を検討してほしい。
- (要望)：23年度以降に第三保育園が子育て支援センターになるが現在の利用状況・意見を取り入れ、園庭の整備、リズム室が必要ないなら駐車場にするなど検討してほしい。